

2025年度（令和7年度） 町田市立南中学校 美術科 第3学年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：美術2・3（光村図書出版） 年間授業時数：35時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション 【鑑賞】	1	鑑 社会の一員として社会に目を向け、生活の中につながる美術について考え方や見方を深める。	○美術室の使い方や持ち物、評価等の確認をする。 ○感じることや表現することの大切さについて考えを深める。			態鑑 鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
5	篆刻 【彫刻】	3	・素材に親しみながら目的と働きを理解する。 ・造形美、仕上がりの美しさを意識できる。 ・用具と素材から創意工夫し、創造的に表す。	○用具の使い方を工夫し、造形美、仕上がりの美しさを味わいながら仕上げる。	素材に親しみながら目的と働きを理解する。用具と素材から創意工夫し、創造的に表す。	材料の特性を生かし用途やイメージに合ったものができる。造形美、仕上がりの美しさを意識できる。	自身の制作を振り返り、良さや反省点を確認できる。他者の作品を見て感想を持つことができる。
6	遠近法 【デザイン】	2	遠近法の仕組みを理解し、空間や立体的図形を描き、表現に応用できるようにする。	○関連する西洋絵画などを学び、どのように作品に生かすか思いめぐらす。 ○仕組みと手順を学び自ら描けるようにする。 【ICT活用】	知 遠近法の仕組みを理解している。 技 空間や立体的図形を描き、表現に応用している。	発 作品の構成や意図を主体的に追求し、自己の作品のイメージに柔軟に取り入れようとする。	態鑑 自分とは異なる発想の仕方や構成の工夫などの効果的な表現を見つけて味わい、他者及び自己を評価できる。
7	メッセージを伝えるポスター 【デザイン】	7	視覚伝達の表現を理解し、伝えあう楽しさを知る。 効果的に内容を伝えるための構成、配色、言葉、レタリングを創意工夫する。	○メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。 ○主題をもとに、作品形態や構成、配色やコピーなどの構想を練る。 ○形や色、材料、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 【ICT活用】	知 伝達デザインの意味やポスターの三大条件を理解している。 技 形や色彩や言葉の関係性をもとに、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを計画的に考えながら丁寧にあらわしている。	発 形や色彩や言葉の関係性をもとに、表現方法を創意工夫し表現の構想を練っている。	態表 方法を知り自分なりに創作活動に取り組もうとしている。 態鑑 展示出品をとおして自身の制作を振り返り、良さや反省点を確認できる。他者の作品を見て感想を持つことができる。
9	シルクロード・法隆寺・仏像 【鑑賞】	2	鑑 仏像に関わる美術を鑑賞し、時代を超えた美術文化への理解を深める。	○仏像の変遷をとおして日本の美術や建築や文化など（飛鳥時代）を鑑賞し、そのよさや美しさを感じ取る。 【ICT活用】	知 シルクロードから伝わった仏像の変遷と当時の日本文化に与えた影響を理解している。		態鑑 日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めることができる。
10 11 12	木彫なべ敷き 【工芸】	1 2	鑑 用と美の調和や、素材の持つ温かみを感じ取り、木彫技法の特徴を生かし創造的に表す。	○日本の伝統工芸品に使われてきた意匠に学び、自分で発想したデザインの中に取り入れる。 ○彫りの技法と用具の使い方を理解する。（片切彫り、葉研彫り、菱合彫り） ○完成した工芸品の良さ美しさを感じ取る。 【ICT活用】	知 手順、用具の使い方と彫り技法を理解している。 技 用と美の調和や、素材の特性を考え創作することができる。	発 用と美の調和や素材の特性を生かす表現の構想を練っている。発想から完成に至るまで計画的に制作する。 鑑 素材の形を生かした図案の工夫ができる。	態表 用具の方法を理解し正しく安全に使い取り組む。 態鑑 自身の制作を振り返り、良さや反省点を確認できる。他者の作品を見て感想を持つことができる。
1 2 3	切り絵 【絵画】【デザイン】	8	表 中学校の思い出をテーマに、表現方法を工夫して心を込めて作品にあらわす。 鑑 作品を鑑賞し、作者の思いや表現の工夫を感じ取る。	○3年間の中学生生活や行事から思い出深いものを抽出し、切り絵の特性を理解した構想を練る。 ○技法と用具を工夫して制作する。 【ICT活用】	知 自分らしさや描かれた事物に託した思いなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 題材の特性に合った図案の作成。素材や技法と用具を工夫し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	発 3年間の中学生生活や行事から主題を生み出し、単純化や省略、強調、合成を考え、構成を工夫し、構想を練っている。 鑑 作者の思いや表現の工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態表 主体的にテーマに向き合い表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 自身の制作を振り返り、良さや反省点を確認できる。他者の作品を見て感想を持つことができる。